



## 国語科「慣用句・ことわざ」 3年2組での実践

### 1 本時の授業について

#### ○ 自分の考えをもつ手だて（前時に行いました）

タブレットや便覧を用いて慣用句・ことわざを調べ、その意味を理解してスリーヒントクイズ（①意味、②キーワード、③穴埋め）を作ることで、慣用句やことわざの使い方についての考えをもてるようにしました。

#### ○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

班対抗スリーヒントクイズを行い、友達から出されたクイズに答えたり、活用場面を考えたりすることで、慣用句やことわざの使い方についての考えを深めることができました。

### 2 授業の様子

「猿も木から落ちる」と同じ意味のことわざや、使用場面を確認して、慣用句やことわざについての復習をしました。その後、タブレットや便覧を用いて慣用句・ことわざやその意味を調べてスリーヒントクイズを作りました。なじみのない慣用句やことわざもあり、どれをクイズにするのか迷っている生徒もいました。しかし、生徒は選んだ慣用句・ことわざの意味をしっかりと捉えて、右の例のようにスリーヒントクイズを考えることができました。

班対抗スリーヒントクイズでは、出題された慣用句・ことわざが難しく、正解できたクイズは多くありませんでしたが、楽しく活動に取り組むことができました。最初のヒントである「慣用句・ことわざの意味」から考えようとする姿が見られたり、答えが分かった後の、教師の由来や活用場面の話を聞いて納得をしたりする生徒がいました。

① 見てるだけだと手に取ることができない	意味 人が集まらなくて、さみしい様子のこと
② 花	キーワード 鳴く
③ ( ) 花	穴埋め ( ) が鳴く
答え 高嶺の花	答え 閑古鳥（かんこどり）が鳴く

作成されたスリーヒントクイズの例

## 理科「単元：身近な物理現象（光の性質）」 1年3組での実践

### 1 本時の授業について

#### ○ 自分の考えをもつ手だて

実物と同じ大きさの像をスクリーンに映し出すために、実物（光源）やスクリーンの位置をどうすればよいか、凸レンズの焦点距離を測ることで焦点距離を意識して、凸レンズによる像のでき方についての自分の考えをもてるようにしました。

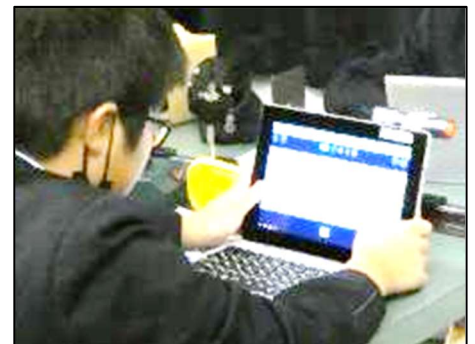
#### ○ 仲間と対話をして考えを深める手だて

焦点距離の違う凸レンズを使い、実物と同じ大きさの像をスクリーンに映し出す実験に取り組んだり、その結果から言えることを班で話し合ったりすることで、凸レンズによる像のでき方についての考えを深めることができました。

### 2 授業の様子

凸レンズの焦点距離を測ることは、以前、経験しているので、手際よく10cmと焦点距離を測ることができました。そして、「焦点距離より近くなるのでは」「焦点距離より遠くなるのでは」「レンズを挟んで同じ距離になるのでは」などと焦点距離を意識して、像のでき方について予想していました。その予想をロイロノートで送られてきた学習カードに記入（右の写真）して、凸レンズによる像のでき方についての自分の考えをもつことができました。

実物と同じ大きさの像をスクリーンに映し出す実験では、実物（光源）とスクリーンを動かして、スクリーンに映し出された像の大きさを



学習カードへ記入している様子

測って、実物と同じになるようにグループで協力しながら調節していました。その後、実験で分かったことをロイロノートに記録して提出させると、「焦点距離の2倍」というキーワードに数人の生徒が気付いていました。

次時には、焦点距離が15cmの凸レンズを使い同じ実験に取り組みました。先回と今回の実験結果から、「法則みたいなことが分かった」などと言っている生徒も何人かいました。そして、多くの生徒が「焦点距離の2倍」というキーワードに気付いて、考えを深めることができました。

## 英語科「単元：Think Globally, Act Locally」 1年2組での実践

### 1 本時の授業について

#### ○ 自分の考えをもつ手だて（第1～7時）

Story①～③で学んだ「want (try, need) to+動詞の原形」を活用したり、Story①③で行った「want (try, need) to+動詞の原形」を活用したプレゼンテーション（右の資料参照）、ワークシートにある「Tool Box」を参考にしたりすることにより、単元末課題において、世界や地域の問題に対してしたいことについて、自分の考えをもてるようにしました。



Story③のプレゼンで利用した物

#### ○ 仲間と対話をして考えを深める手だて（単元末課題 第8・9時）

ペアとの英語でのやり取りを通して、友達のことを参考にして、マインドマップを書くことにより、世界や地域の問題に対してしたいことについての考えを深めることができました。

### 2 「単元末課題」での授業の様子

Story①③で行った「want (try, need) to+動詞の原形」を活用したプレゼンテーションの経験を踏まえ、単元末課題において興味のあるテーマを1つ選び、その問題に対して自分がしたいことについて、ペアで尋ね合うようにしました。生徒は、Story①③で行ったプレゼンテーション、ワークシートにある例文と「Tool Box」を頼りに、自分がしたいことについて話そうとしていました。そういった姿から、自分の考えをもつことができたと考えます。

ペアでの活動後、友達のことを参考に右のワークシートの例のようにマインドマップを書いていました。そして、教科書の本文も参考にしながら、自分の表現に生かして、右の例のようにテーマに対して自分がしたいことについて考えを深める生徒が多くいました。

この実践では、「自分の考えをもつための手だて」が1単位時間の中で行われるのではなく、Story①～③での学習といった7時間に渡って行われた後、その知識を活用して課題について考えるようにしていました。学んだ知識を活用して思考するといった授業構成は今後の参考にしていきたいと考えます。

Unit Activity p93

Step1 下のテーマのうち、自分 **テーマ** disasters (災害)

(the) environment (環境) disasters (災害) health (健康) poverty (貧困)  
manners (マナー) education (教育) food loss (食品ロス) others (その他)

Step2 Step3 で何について書くのかを考えながら、内容についてペアでたずね合おう。  
例) A: What do you want to write about? **例文** save our life pl  
B: I want to write about poverty. I want to ~, so I need to ~  
disasters I don't want to ~, so I try to ~

**Tool Box**

old toys/clothes/shoes/bags (古いおもちゃ/服/靴/バッグ)  
give (～を与える) donation box (募金箱) at the cou  
bring ~home (～を家に持って帰る) bring~with me (自  
finish (～を終える) healthy (健康的な) do exercise (運動をする)  
snacks (おやつ) waste (～をむだにする) stop ~ing (～することをやめる)  
save (～を節約する、救う) lifter (ボイ捨てする)  
keep~clean (～をきれいに保つ) prepare for~ (～に備えて準備する)  
disaster goods (防災グッズ) plastic bag (ビニール袋) eco bag (エコバッグ)

※take care to~ (～に気をつける)のあとには、以下が続く  
have good manners (マナーを守る) keep healthy (健康を保つ)  
clean my environment (身の回りをきれいに保つ) use~ (～を使う)

Step3 Step2 で話したテーマについて深く考えるために **マインドマップ**  
書こう。(社会的背景、事実、問題、あなたの行動)

**★Step4** Step2・3で考えたことや教科書本文を **テーマに対して自分がした**  
うとしている行動 (Act Locally 是元 **いことについて記入**  
会的背景、事実について4文以上のま

I need to prepare disaster goods.  
I'm not preparing it yet.  
We need to save our life, so we need prepare for  
disasters. It's difficult a little, but I want to do  
my best. I don't want to waste our life.

記入されたワークシート例